子ども救急員育成プロジェクト Kids' First Aid School 「子どもたちが大切な命を守る!」

特定非営利活動法人 日本応急手当普及員協会

6月30日(日)に小杉文化ホール(ラポール)で参加者説明会を行いました。講習日程や注意事項について説明した後、子どもたちとその保護者を対象に、心肺蘇生法やAEDの取扱について実践形式の講習を行いました。













7月7日(日)に射水消防署で消防署員2名の協力を得て、基礎講習を実施しました。講習では、止血 法や搬送法、三角巾を利用した固定の仕方などを学びました。













7月21日(日)に小杉文化ホール(ラポール)で講習を実施しました。大阪済生会千里病院 救命救急センターの伊藤裕介先生と大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センターの大西光雄先生の2人を講師に迎え、心肺蘇生法や止血法などについて学びました。













8月3・25・31日に小杉文化ホール(ラポール)で、救命模擬現場クリア訓練を行いました。これまで学んだ心肺蘇生法やAEDの取扱、止血法、搬送法を繰り返しトレーニングし、9月7日(土)の成果発表会に備えました。













9月7日(土)に射水消防署で救命模擬現場体験会を開催しました。体験会では、散歩中の人が倒れて心肺停止状態となったり、樹木剪定中に脚立から落下し、足を骨折した等の4つの指令(シナリオ)を用意しました。子どもたちは5チームに分かれ、これまで学んだ応急手当の技術を生かし、次々と指令をクリアしました。体験会終了後には、参加した小学生11人に認定証を交付しました。













10月12日(土)に開催された「第2回大阪千里子どもメディカルラリー」に、当プロジェクトを履修した、 歌の森小学校5年生の老月裕貴さんと中太閤小学校5年生の横田明香里さんが参加し、見事優勝しま した。(全11チーム参加、うち射水市1チーム参加)

10月25日(金)には、小杉庁舎を訪れ、夏野市長に優勝の報告を行いました。

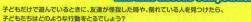












大人などの助けを呼ぶことができますか? 119番通報して救急車を呼ぶごとができますか? 適切な手当でを行えますか? そして、命を救うでとができますか?

こともメディカルラリーは、そんな状況に出会った時、子どもたちだけで考え、自分達の身を守りつつ、 怪我した人、倒れている人に適切な手当でかできるようになればどの願いからだ適されました。 自分達の身を守り、119番通報、止血処置、胸骨圧迫、AED(自動体外式除細動器)の使用など、

すべてを子ともたちだけで考え、行動する子どもたちのメディカルラリーです。 今回は、南干里公園内に3箇所、シナリオステーションを設置しています。(裏面地図★マーク) 大阪府済生会干里病院は、今後もこの子どもメディカルラリーを

日本全国に広めていきたいと考えています。 日本中の子どもたちが、命の大切さを実感し、勇気ある行動を取ってくれることを夢見ています。

子どもメディカルラリーも大人同様見学は自由です。 子どもだからって甘く見てはいけません。スーパーキッズたちの勇姿をご覧ください。 第28大阪千里子どもメディカルラリー 企画委員

茨木市消防本部 荒井 隆行 大西 光雄

伊藤 裕介

